



2020年7月29日

各位

会社名 コーユーレンティア株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅木 孝治
(コード: 7081、東証JASDAQ)
問合せ先 執行役員財務経理部長 渡部 泰行
(TEL. 03-5931-4203)

2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	21,000	1,200	1,180	660	124.52円
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	22,463	1,476	1,417	1,018	226.34円
(ご参考) 2020年2月 13日発表業績予想 (2020年12月期)	21,570	1,230	1,220	800	153.22円

2. 修正の理由

2020年5月13日に公表した「2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、通期連結業績予想を未定としておりましたが、あらたに現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて2020年12月期通期連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

売上につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置による影響を受け、イベント向け市場での大型案件の開催延期や中止が相次ぎ大きな減収となる一方、オフィス向け市場ではコロナ禍による企業のテレワー

クの推奨により、ICT関連機器のレンタルサービスの売上が伸びました。また同様に業務の効率性、生産性を高めるためのアウトソーシング需要が増えた事、政府の緊急経済対策が施行された事等によりBPO案件の出件が増え、イベント向け市場の落ち込みをある程度カバーできる状況にあります。通期におきましても、この傾向が続くものと予想し、業績への影響は限定的と考えております。また大手ゼネコン企業等を主要顧客とする建設現場向け市場では、将来的に設備投資の減少による需要の減少懸念はあるものの2020年上期までに稼働した現場は底堅い需要に支えられ順調に推移していくことを見込んでおります。

利益面につきましては、イベント向け市場における減収の影響はあるものの、ICT関連機器のレンタルサービスの売上増加による増益効果、需要に見合った商品仕入の管理、全社的な販売費及び一般管理費の削減等を進めていくことにより、連結営業利益1,200百万円、連結経常利益1,180百万円、親会社株主に帰属する当期純利益660百万円になると見込んでおります。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、新型コロナウイルス感染症の影響が12月まで段階的に続くと想定し、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

以 上